

「アジアの音楽史上最高のテノール歌手」と将来を嘱望され、ヨーロッパで活躍をしていた韓国人オペラ歌手。甲状腺がんにも倒れ突然声を失いながらも、医学の常識を超えて舞台復帰を遂げたドラマが今、NHK「プレミアム10」、フジTV「とくダネ！」などマスコミで話題！

ベー・チェチョル

誰も寝てはならぬ～ベー・チェチョル オペラアリア集

彼が、声を失う以前に残した、日本での貴重なライブ録音を厳選。聴衆全ての心を揺さぶった歌声による、オペラ・アリアと韓国民謡。声帯と横隔膜の神経を切断しながら医学の常識を越えて舞台復帰を果たした、奇跡のテノール、ベー・チェチョルの声を失う前に日本で収録された貴重なライブ録音盤。



発売日:2009年10月5日
価格:¥3,045(税込)
商品番号:VFCR-3

■収録曲

1. フェデリコの嘆き～「アルルの女」より(チレア)
2. 誰も寝てはならぬ～「トゥーランドット」より(プッチーニ)
3. 星も光りぬ～「トスカ」より(プッチーニ)
4. 愛らしい乙女よ～「ラ・ボエーム」より(プッチーニ)
5. 女心の歌～「リゴレット」より(ヴェルディ)
6. 見よ、恐ろしい炎～「イル・トロヴァトーレ」より(ヴェルディ)
7. カタリ(カルディッロ)
8. 舟歌(韓国民謡)
9. 慕わしい金剛山(作詞:韓 相億 作曲:崔 英燮)
10. この世に一人見捨てられ～「イル・トロヴァトーレ」より(ヴェルディ)
11. あなたこそ心の人～「イル・トロヴァトーレ」より(ヴェルディ)
12. 見よ、恐ろしい炎～「イル・トロヴァトーレ」より(ヴェルディ)

共演ピアノ:呉 恵珠(1~8)、松崎亮(9)/ソプラノ:パク・ジュンウォン(4)、関 定子(11,12)/テノール:真野郁夫(12)
ニコレッタ・コンティ指揮 東京フィルハーモニー管弦楽団 東京オペラシンガーズ(10~12)
収録年:2003~05年 東京オーチャードホール、オペラシティコンサートホール、大阪シンフォニーホール、愛知芸術劇場



ベー・チェチョル [テノール] Bae Jae-chul

イタリアのヴェルディ音楽院を修了後、直ちにヨーロッパ各地の声乐コンクール(98年ジュリエッタ・シミオナート)(98年フランス・ビーニャス)(98年プラシド・ドミンゴ・オペラリア)(98年ビルバオ)(99年ヴェルディ)等に優勝・入賞を重ねデビュー。

ハンガリー国立歌劇場、ビルバオ、トリノ市立歌劇場、パルマ市立歌劇場、マドリッド・オペラハウス、デュッセルドルフ・ライン歌劇場、サヴォリンナ・オペラフェスティバルなどでトスカ(カヴァラドッシ)、ボエーム(ロドルフォ)、蝶々夫人(ピンカートン)、ルチア(エドガルド)、リゴレット(マントヴァ公爵)、トロヴァトーレ(マンリーコ)、マクベス(マクダフ)、ファウストなどを歌って、本場各地でも大きな成功を収めている。世界的にも貴重な「リリコ・スピント」の声質を持つ。

日本には2003年の9月にオーチャードホールにて行われたヴェルディ「イル・トロヴァトーレ」で初登場。衝撃的なデビューを飾って以来、毎年来日を重ねる。

更なる活躍が期待される中、2005年10月、甲状腺がんであることが判明、その摘出手術の際、声帯と横隔膜の神経を切断。歌声に加え、右側の肺の機能を失う。しかし、多くの日本のファンの支援のもと、2006年4月25日京都にて、京都大学、一色信彦名誉教授による甲状腺軟骨形成手術を受ける。厳しいリハビリの日々を送る姿が日韓両国でのドキュメンタリー番組(NHK「BSハイビジョン特集」「プレミアム10」「ニュース・ウォッチ・ナイン」、「KBSスペシャル」、他)や、報道を通じ多くの共感を生んだ。

2009年9月には、初の自伝「奇跡の歌」(いのちのことば社)より発売、10月には、自伝出版記念の全国ツアー開催。